

## モデルルートについて

平成17年12月7日

# 1. 公募の概要(案)

■ 主催: シーニックバイウェイ(仮称)戦略会議

■ 対象地域: 日本全国

■ 公募対象:

・みちづくりパートナーシップ(仮称)※

・今後、みちづくりパートナーシップを設立可能な地域の代表組織

※活動を実施する地域住民や企業、NPO、行政等が、道づくりのための協議を行う場としての組織。

■ 応募条件: 下記条件を全て満たす組織

・計画策定能力および実行能力がある組織

・継続的に活動が可能な組織

・関係する者と調整可能な組織

※ 特定の政治的及び宗教的信条に基づく活動を行う団体並びに暴力団その他の反社会的活動を行う団体を除く

■審査員：シーニックバイウェイ(仮称)戦略会議メンバー

※審査員が直接的、間接的に事業に関わっているルート<sup>※</sup>の審査には、該当する審査員は関わらない。

■モデル数：20件程度

■評価方法：

①“候補ルート<sup>※</sup>”から、最終的な“モデルルート”として約20ルートを、戦略会議委員が選定する。

※ 多数の応募があった場合、事務局が、30～40件程度までを“候補ルート”として絞り込む。

②評価は、必要に応じて公開とする。

## ■評価基準(案):

①**地域の魅力** : ・地域の魅力(資源・資産)を活用する方針・テーマが明確にされているか  
・活用・再生する地域の資源・資産の価値(歴史資源や観光資源等)が高いか

②**計画内容と「新しい道空間づくりの4つの視点」との整合性**

●**道の担う役割の復興・再生**

・道の多様性が引き出されているか

●**地域の資産の活用**

・地域資源の活用や保全の方針が明確になっているか

●**新たな価値の創造**

・地域独自の新たな工夫が図られているか

●**使われ方の負の遺産の清算**

・道路および沿道の課題を把握し、その対応が図られているか

■ 評価基準(案) :

- ③ 組織の熱意・能力 : ・ 取組みに対する熱意が見られるか  
・ 沿道住民や関係者を含んでいるか  
・ 関係者との調整が可能な組織構成、活動能力があるか
- ④ 継続性 : ・ 継続的に自立した活動を行うための戦略があるか
- ⑤ その他 : ・ 財政面での計画がなされているか

## 2. 公募スケジュール(案)

H18年度始めにモデルルートของ公募案内、受付、選定を実施する。

時期	内容
H18年4月	モデルルートの公募受付開始 ↓ モデルルートの公募締切り
H18年5月	モデルルート選定(第2回 戦略会議)